

令和3年7月27日

教育関係機関長  
高等学校長 様  
教職員  
関係者

北海道高等学校教育経営研究会  
会長 辻 敏 裕

令和3年度北海道高等学校教育経営研究会夏期シンポジウムの開催について  
(ご案内)

盛夏の候 皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、本会の研究活動に平素から高い関心とご支援を賜っておりますことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

新型コロナ感染拡大について、昨年度から見れば若干落ち着いてきたとは言え、現時点においても学級・学年閉鎖等に対応する学校があり、不安感と緊張感を抱えながらの学校運営であろうと推察いたします。分散登校なども続いており、今後においては ICT を活用した授業を推進するなど「新しい学校運営様式」が求められているものと思います。

さて、高等学校学習指導要領の改訂に伴い、総合的な探究の時間についてはすでに先行実施されておりますが、来年度からの年次進行による本格実施に向けて各学校においては教育課程の編成を終え、教育内容の充実や工夫について作業を進めているものと推察いたします。

これまで、本会では、「社会に開かれた教育課程」の実現のための学校経営、授業改善の在り方、ICT の活用をテーマに、各学校における課題などについて議論を深めてまいりました。

こうした中、今回のシンポジウムでは「社会に開かれた教育課程を創る ～探究的な学習の発展、ICT は止まらない～」をテーマに、大正大学人間学部教授 稲井 達也 氏を講師にお迎えし、ご講演を賜るとともに、ご参会の皆様方と新学習指導要領の柱である探究的な学習やコロナ禍での授業で重視された ICT の活用などについて具体的に議論を深め、その理解と促進を図ることといたしました。

つきましては、公務ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、貴職の参加並びに学校運営の実務に携わる副校長・教頭や部長主任をはじめとした関係教職員へのご案内とご派遣について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

〈添付資料〉

- 1 令和3年度夏期シンポジウム開催要項
- 2 参加申込書

※新型コロナ感染防止のため、状況によってはビデオ会議サービスの Zoom を利用しての遠隔開催とします（8月20日(金)に判断する予定です）。

令和3年度 北海道高等学校教育経営研究会夏期シンポジウム開催要項

主催 北海道高等学校教育経営研究会

後援 北海道教育委員会

1 研究主題と研究課題

(1) 研究主題 北海道を元気にする高校教育

(2) 研究課題 「社会に開かれた教育課程を創る  
～探究的な学習の発展、ICT は止まらない～」

高等学校における探究は、「総合的な探究の時間」のほかに、古典探究、日本史探究、新設された理数探究などの科目が設けられ、教科の学習で重視されています。探究活動について、各学校ではその準備を着々と進められていますが、よりよい実践事例を求めているものと思います。

また、今年度、北海道高等学校遠隔授業配信センターが有朋高校に設置され、教員が少ない地方の小規模校でも習熟度別や専門性高い授業を受けられるようになりました。北海道の地方創生のためにも遠隔授業の充実が求められていると思います。

今回のシンポジウムでは、各学校における取組をどのように進めて行けばよいか、大正大学 稲井達也教授に加え、北海道札幌北高等学校 林 正憲校長、北海道鹿追高等学校 俵谷俊彦校長、北海道有朋高等学校 元紺谷尊広校長、北海道礼文高等学校 齊藤雄大校長とともに、一つひとつの課題に真摯に向き合い、北海道における「探究的な学習の発展、ICT の活用」について議論を深めてまいります。

2 期 日 令和3年8月28日(土)

3 会 場 学校法人北海学園  
シンポジウム会場 北海商科大学2号館5階 多目的ホール  
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番地  
TEL (011)841-1161(代)  
地下鉄東豊線「学園前」駅4番出口直結  
※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

教育懇談会は実施しません

4 日 程

9:20 9:50 10:20 11:50 13:10 15:00 15:20 17:00

受 付	開 講 式	基調講演	昼食休憩	シ ン ポ ジ ウ ム	休 憩	講 演 発 表 質 疑 応 答	閉 講 式
			総 会 ~12:15				

## 5 講師・シンポジスト

### (1) 基調講演 [10:20~11:50]

(演題) 探究的な学習の推進とカリキュラムマネジメント  
— 高大接続を視野に入れて —

(講師) 大正大学人間学部教授 稲井 達也

### (2) シンポジウム 「探究的な学習の発展」 [13:10~15:00]

《シンポジスト》 大正大学人間学部教授 稲井 達也  
北海道札幌北高等学校長 林 正 憲  
北海道鹿追高等学校長 俵 谷 俊 彦  
《コーディネーター》 北海道高等学校教育経営研究会会長 辻 敏 裕

### (3) 講演 [15:20~15:50]

(演題) 北海道における遠隔授業の推進

(講師) 北海道有朋高等学校長  
北海道高等学校遠隔授業配信センター長 元紺谷 尊 広

### (4) 発表・質疑応答 [15:50~17:00]

北海道有朋高等学校長 元紺谷 尊 広  
北海道礼文高等学校長 (受信校代表) 齊 藤 雄 大  
北海道札幌北高等学校長 林 正 憲  
《司会・進行》 北海道立教育研究所部長 城 戸 和 彦

## 6 参加申込

(1) 申込方法 別紙『メール送信票』、もしくは、所属名、参加者名、職名、Zoom用アドレスをメール本文に記載し、下記アドレスに送信をお願いします。

問合わせ

北海学園大学 講師  
小形 秀雄 (高経研事務局担当)  
Mail: ikome4063@jcom.zaq.ne.jp

(2) 申込期日 令和3年8月20日(金) 必着といたします。

(3) 参加料等 当日シンポジウム会場受付で納入をお願いいたします。

参加料 3,000円

※ 参加料には研究紀要代1,000円が含まれています。

※ 参加とは別に会員の入会を受け付けます。詳細は事務局までお問い合わせ願います。

(4) その他 昼食は会場周辺の飲食店の利用をお願いいたします。

# メール送信票



発信年月日	令和 3 年 月 日 ( )		
送信先	高経研事務局 小形秀雄宛 (メールアドレス ikome4063@jcom.zaq.ne.jp )		
件名	令和3年度高経研夏期シンポジウムの参加申込について		
送信元	氏名		
	所属		
	電話番号		
参加者名	所属名	職名	氏名
Zoom用アドレス	(必須)		
Zoom用アドレス	(必須)		
Zoom用アドレス	(必須)		
質問・意見欄			

# 高経研 夏期シンポジウム



主催 北海道高等学校教育経営研究会  
後援 北海道教育委員会

## 研究課題：「社会に開かれた教育課程を創る ～探究的な学習の発展、ICTは止まらない～」

日時：令和3年8月28日（土）9時50分～17時頃（受付9時20分）

場所：北海商科大学2号館5階 多目的ホール

（札幌市豊平区豊平6条6丁目10番地 地下鉄東豊線「学園前」駅4番出口直結）

参加料：3,000円

※参加料には資料代が含まれています。

基調講演講師： 稲井 達也（大正大学人間学部教授） [10:20～11:50]

探究的な学習の推進とカリキュラム・マネジメント

－高大接続を視野に入れて－

シンポジウム 「探究的な学習の発展」 [13:10～15:00]

<シンポジスト> 大正大学人間学部教授 稲井 達也

北海道札幌北高等学校長 林 正 憲

北海道鹿追高等学校長 俵 谷 俊 彦

<コーディネーター> 北海道高等学校教育経営研究会会長 辻 敏 裕

講演： 元紺谷 尊広（北海道有朋高等学校長） [15:20～15:50]

北海道における遠隔授業の推進

発表・質疑応答 [15:50～17:00]

北海道有朋高等学校長 元紺谷 尊 広

北海道礼文高等学校長 齋 藤 雄 大

北海道札幌北高等学校長 林 正 憲

<司会・進行> 北海道立教育研究所部長 城 戸 和 彦

### 教育懇談会は実施しません

※新型コロナウイルス感染状況によってはZoomを活用しての遠隔開催となります。

（8月20日（金）に判断する予定です）

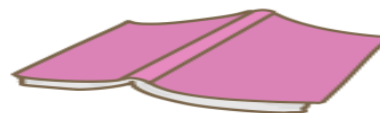
#### 申込方法

所属名、参加者名、職名、シンポジウム参加の有無、Zoom用アドレスをメール本文に記載し、下記アドレスに送信をお願いします。

※令和3年8月20日（金）を締め切りとさせていただきます。

北海学園大学 講師 小形 秀雄（高経研事務局担当）

Mail： ikome4063@jcom.zaq.ne.jp



令和3年度北海道高等学校教育経営研究会  
夏期シンポジウム 健康観察票

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、参加者の健康状態を確認するため、次の点について、ご協力をお願いします。

- 1 参加当日の朝、自身で体調を確認するとともに、自宅で検温を行ってください。
- 2 体調が悪くなかったり、熱があったりする場合は、参加することのないようにしてください。
- 3 体調に問題がない場合は、下記の事項を記入し、受付に提出してください。

○記入日 令和 3 年 8 月 28 日

○今朝の体温  °C

○所属

○氏名

○住所

○電話番号 (        )        -       

※シンポジウム終了後、2週間以内に新型コロナウイルスに感染した場合は、事務局の小形秀雄までご連絡ください。

※シンポジウムで感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。記入した健康観察票は、1ヶ月保管した後、破棄いたします。